

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	49週	48週	第49週		第48週		第49週		第48週		第49週		第48週		第49週		第48週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	1063	688	70	79	29	48	52	31	19	25	0	29	0	0	18	19	10	23
咽頭結膜熱	37	42	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	174	210	24	0	52	0	10	0	20	0	3	0	1	0	11	0	31	0
感染性胃腸炎	135	97	36	10	37	19	35	5	35	3	0	5	0	13	1	0	2	3
水痘	26	24	13	6	10	19	12	6	9	17	0	0	0	1	1	0	1	1
手足口病	37	28	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	69	69	34	0	25	3	16	3	12	0	0	0	0	0	18	3	13	3
突発性発疹	23	22	5	0	2	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ヘルパンギーナ	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	37	35	2	0	5	0	2	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	9	14	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0

県中地域の状況

流行中	現在、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・水痘・RSウイルス感染症の流行が続いています。
中小流行中	現在、インフルエンザ・感染性胃腸炎の小流行が続いています。

インフルエンザの流行に備えましょう



- ・県中管内の1定点あたりのインフルエンザ患者報告数は注意レベルとなる10.00を超えました。
- ・インフルエンザは高熱や関節痛等全身の症状が突然現れます。併せて、普通の風邪と同様、鼻汁や咳等の症状もみられます。
- 乳幼児は脳症を、高齢者は肺炎を伴うなど、重症化する恐れがありますので、早期受診を心がけてください。

○県中管内ではインフルエンザによる学級閉鎖も！

- ・インフルエンザ施設別発生状況の調査によると、第49週で休校0校、学年閉鎖2校、学級閉鎖0校となっています。昨年の同時時期には休校0校、学年閉鎖0校、学級閉鎖0校であったため、昨年と比べると多い状況です。



① 流行前のワクチン接種

インフルエンザワクチンは、感染後に発症する可能性を低減させる効果と、発症した場合の重症化防止に有効と報告されています。

② 飛沫感染対策としての咳エチケット

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染です。咳やくしゃみを他の人に向けて発しない、また、咳やくしゃみなどが出るときはできるだけマスクをするなど、普段から咳エチケットを心がけてください。

③ 外出後の手洗い等

流水・石鹸による手洗いは、手指など体についたインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法であり、インフルエンザに限らず接触や飛沫感染などを感染経路とする感染症の対策の基本です。また、インフルエンザウイルスはアルコールによる消毒も有効であるため、アルコール製剤による手指衛生も効果があります。

④ 適度な湿度の保持

乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度（50～60%）を保つことが有効です。

この情報に関するお問い合わせ先：県中保健福祉事務所 医療薬事課 感染症予防チーム

TEL：0248-75-7818 E-mail：kenchu_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp